



明治学院中学校・高等学校同窓会 白金会 会報誌

白金の丘

発行
白金会
編集
広報委員会

明治学院中学校・高等学校 同窓会からのご報告とお願い

明治学院中学校・高等学校同窓会

白金会 会長

高橋 敏 幸

(1968年卒)



同窓生の皆さま、
いかがお過ごしで
しょうか？

あつという間に一年が過ぎ去り、今年も会報誌「白金の丘」発行時期になりました。この原稿を書いている時期はちょうど花粉も大いに飛び跳ね、苦しんでいる方々が多く出ていると思われます。どうぞご自愛ください。

さて、今年も3月11日(月曜日)に明治学院高等学校の卒業式がチャペルで行われ344名の高校生が巣立ってまいりました。例年のことながら卒業生は大学進学や社会人一年生として明治学院高等学校で培って得たものを糧に、新しい目標に向かって大いなる希望を持って羽ばたいています。新たに明治学院中学校・高等学校同窓会の一員となられた344名の卒業生を祝福を持って迎えたいと思います。卒業生には毎年恒例のMGマーク入りスプーン2本セットの他に今回、に明治学院チャペルなどを背景にしたクリアファ

イル3点セットを贈呈しました。クリアファイルについては好評を得たのでこれも毎年贈呈していきたいと思っています。

彼らには、高等学校のホームページにある様に「隣人を愛せよ」と云う精神・明学魂を持ち続けて欲しいと思っています。

そして、いつの日でも心にゆとりを持って歩み続けてもらいたいと思います。

明治学院高等学校の行事日程

明治学院高等学校は今年4月6日に入學式が行われ321名の新入生を迎えました。そして今年7月には明治学院高等学校新校舎建設の為に仮設校舎が建設されます。(この事については新校舎建て替えの件でお話いたします。)9月にはオリブ祭(昔の文化祭)開催、合唱コンクールへの参加。注目度ナンバー1の行事です。10月に入ると体育祭が行われます。11月には学院挙げてのアドヴェント礼拝・クリスマスツリー点灯式とつながります。12月は卒業礼拝が行われ、すぐにクリスマス音楽礼拝と続きます。

2020年2月には旧校舎解体が始まり引越しが行われます。

3月になると卒業式を迎えます。

毎年の事です。同窓生の皆様にはお願ひです。

年会費・賛助金のお振込みをお願いいたします。(同封の郵便振替用紙にてお願いいたします。)

白金会では学校側からの要請に基づき、毎年「生徒会」「合唱コンクール」への活動支援と単発的な支援を行っていますが、学校側からの要請に對しまして、残念ながら十分な支援が出来ない状態です。

皆様方同窓生の年会費・賛助金が年々少なくなり運営に支障をきたしているのが現実となっています。

皆様方へは切実なお願いとして年会費3000円が難しいようでしたら、どうかお一人最低1000円の賛助金のお振込みをお願いするものです。毎年会報誌を作成し皆様方へお送りしている印刷送料だけでも経費がかなり嵩んできております。昨年は各業者の見直しや協力により印刷代、配送費の大幅な値引きをしていただき大いに助かりました。しかしながら今年は各社値上げ要請が来ているのも事実です。そこで、同窓会員お一人お一人に頼らなければならぬのが現実です。同封しております、郵便振替の振り込み用紙をお使いいただき宜しくご協力ご支援をいただきます様お願い申し上げます。後で、また新校舎建設募金をお願いをしなればならぬことを思いますと、大変心苦しく思います。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

【還暦記念礼拝のご案内】

明治学院中学校・高等学校同窓会では今年も継続して還暦記念礼拝を行います。(昨年に続き「還暦記念礼拝」イベントも開催いたします。)

この還暦祝い礼拝イベントも今年で4回目になります。今年は学校が解体されることもあり特に感慨深くお集まりになるのではと思います。1978年卒の方々が対象年度です。高校生時代を懐かしみもう一度チャペルに集まりましょう。高等学校に赴任した牧師による礼拝を守り、パイオルガンにより讃美歌で昔を思い出していきたいと思います。 (詳細につきましては別途、対象年度の方々にはご連絡いたします。)

そのあと、高等学校食堂で懐かしい先生方を交え懇親会を行います。開催日時によって懇親会会場は変更いたしますので別途ご案内をご覧ください。(その頃にはホームページもご覧いただけるようになっていと思っています。)

そして最後には校歌を歌いましょう。その後、二次会にお出かけください。なお、もちろん今年還暦を迎える卒業生以外の方の参加も大いに歓迎いたします。よろしくご参加ください。

【卒50周年記念礼拝のご案内】

併せて、卒50周年記念礼拝を行います。該当年度は1969年卒の皆さんです。昨年度から卒50周年記念礼拝を開催しております。還暦記念礼拝との合同礼拝になります。どうぞ皆さん奮ってご参加ください。

昨年度は多くの方々が出席なさいました。

礼拝終了後、高等学校食堂においてノンアルコールビールで乾杯を行い、参加者は昔話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごし記念撮影を行いました。日程などにつきましては会場の都合も

あるので該当年度の方々には別途ご連絡いたします。また、ホームページ上でも告知する予定です。

当同窓会の2018年度の活動内容

- ・会報誌「白金の丘」の発行(年1回)
- ・年度役員会(総会)の開催(年1回)
- ・高等学校卒業生への卒業記念品の贈呈(MGロゴ入りスプーン2本セット)
- ・今年は記念品に明治学院のチャペルなどをデザインしたクリアファイル3枚入りをセットにして贈呈しました
- ・高等学校生徒会への補助金の支給
- ・高等学校合唱コンクール参加費の補助金支給
- ・卒業生の名簿管理
- ・毎月1回定例執行役員会の開催
- ・3か月に1回明治学院高等学校側との定期情報交換会

- ・2018年4月に明治学院理事からのオール明学校友会立上構想のヒアリングが2度目の。(その後の進捗状況の説明は学院側からありません)
- ・2019年1月19日チャペルにおいて「卒50周年記念礼拝」「還暦祝い記念礼拝」行い、その後、高校食堂において懇親会

高等学校校舎建て替えについて

2022年完成予定で2019年度から校舎の建て替え工事に入ります。現在の高校教室棟は、一期校舎(1964年)、二期校舎(1974年)とも竣工から40年以上が経過してかなり老朽化が進んでいます。既に2013年度における明治学院創立150周年記念事業の一環として高校校舎の建て替えが決定している経緯からも2020

年着工で、2022年8月校舎竣工に向けていよいよスタートします。その為、当同窓会でも新校舎建築事業に對しまして協力を惜しまない所存です。

今後、新校舎建築事業に関する募金創設が始まります。

この募金にしましては寄付者が寄付金控除(税制上の優遇措置)を受けることが出来る募金になります。そのため、各個人の募金寄付にしましては、学校側からお願いは、2019年4月1日(実際にはお願いのご連絡を明治学院募金課より2019年3月末から趣旨をお願いする用紙と一緒に振込用紙を同窓生宛にお送りさせていただきます。)(2022年7月末までの3年4か月の期間を募集期間として目標額1億円です。

依頼時期は年2回4月と12月です。

1口の金額は1万円ですが、これよりも少ない金額の申し込みであっても構わないそうです。募金していただいた方々には銘板にお名前を刻印するなどの方法を検討しておりますが、まだ決定事項ではありません。今後、皆様には高等学校・学院から協力していただけるようなご案内が届く予定です。なお、我々の同窓会は皆様からお振り込まれた賛助金をまとめて同窓会として募金させていただきます。ただし、その場合は一人一人の寄付金控除は出来ませんのでご了承ください。又は、個人の名前の募金とはなりませんのでくれぐれもお間違いない様をお願いいたします。寄付金控除(税制上の優遇措置)をお受けになりたい方は、学院から送られてくる振込用紙にてお

振込みください。

学院からは2019年4月から2022年7月までの3年4か月に渡り年2回4月と12月に募金に関するご案内をお送りする予定になっておりますので同窓生の皆様には宜しく願います。

明治学院高等学校新校舎建築に関する件「明治学院高等学校新校舎建築事業に関する募金創設について」は明治学院法人事務室募金課から送られます案内をご覧ください。募金から送られる振込用紙をお使いになれば寄付者が寄付金控除(税制上の優遇措置)を受けることが出来ます。

『年度役員会開催のお知らせ』

日時 2019年6月22日(土)

12時30分

会場 明治学院 第2礼拝堂

(小チャペル)(記念館1階)

懇親会 高等学校食堂(※無料)

14時より開始予定

明治学院中学校・高等学校同窓会(白金会)			
収支計算書(2017年4月1日～2018年3月31日)			
収 入		支 出	
初年度会費	3,300,000	会費発行費	3,091,099
年会費	663,000	年度役員会・総会開催費	90,000
賛助金	580,130	委員会活動費	200,000
懇親会参加費	76,000	事務用品費	36,503
雑収入	4	交際費	78,994
		通信費	78,629
		会員名簿整理費	339,480
		振込手数料	29,290
		在校生支援費	150,000
		卒業記念品費	976,000
		特別記念品費	0
		雑費	32,400
		予備費	0
小計	4,619,134	小計	5,102,395
前年度繰越金	3,502,274	次年度繰越金	3,018,813
合計	8,121,408	合計	8,121,208

単位:円

☆☆☆明治学院中学校・高等学校 同窓会(白金会)の公式ホームページを開設しました☆☆☆



白金会ホームページ

QRコード

URL

<https://mg-shirokane.com/>

代表メールアドレス

info@mg-shirokane.com

※適宜情報をアップしてまいりますので、ぜひご覧ください。

「叙勲の栄に浴び」



瀧澤 義 矩 (1956年卒)

昭和31年(1956年) 高卒の瀧澤です。このたび図らずも平成30年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章致しました。40年以上にわたる学校保健への功績が認められたようです。昭和51年1月に診療所を開いてから地域の医療に励んでまいりました。

3世代にわたって診てきたご家族の皆さんもちらほらみられます。開院後間もなく地域の先輩の先生のお1人がお亡くなりになり、勤めておられた小学校の校医を引き継ぐよう求められ、昭和52年6月校医に就任しました。当時予防接種は各校で集団で行われ、連日のように近隣の先生方と一緒に出勤していました。現在は個別接種となり診療時間で行えるようになり過密な日程から解放されました。学校保健も少しずつ変わってきています。現代の生活は人の足腰を弱くします。子供たちも同様です。そのため近年、定期の身体検査で足腰の検診が重要項目のひとつとして取り組まれるようになりました。クラスの編成も以前は40人位でしたが、いまは25〜30人位になっています。しかし担任の先生方の負担は格段

に増えています。勤務時間外の仕事が多く身体的負担より精神的負担が大きいです。保護者対応などとても神経を使いますので卒後間もない年若い先生方はひとりで悩まないで経験豊かな先輩の先生方など周りで組織的に支援していくことが求められています。いまひどい状態で働いている教職員と医師、働き方改革の視点から、これくらいいくつもの難題を乗り越えていかなければなりません。

中学、高校を明治学院で過ごし、英語に親しくする機会を得て良かったです。ある時、たまたま大川先生とオルトマン先生が廊下で激しく英語で言い争いをしている所に出喰わしました。迫力があつて衝撃的でした。僕も英語に強くなりたいなあ。以来英語塾に通う、教材を使う、小説を読む、ラジオ英会話、米軍放送を聞く、米軍キャンプの奥様方の内職、英会話教室を英字新聞で探して外国派遣直前の会社員の方々に加わりました。自分が満足できる程上達などとてもできませんでした。英語が、とにかく何でもやりました。英語に親しんでいたお陰か、日大医学部を出てから米国横須賀海軍病院でのインターン、現地で患者さんを診られる資格を取得しての研修・研究で留学する機会などに恵まれました。インターン仲間とはいまでも変わらぬ交わりが続いています。シアトル・バンクーバーで3年間過ごしましたが、正直言つて日本人は言葉に苦勞しますね。毎日の診療でも外国人の方々が頻繁に訪れます。言葉が十分に通じなくて心細い人たちの気持ちを察して懇切丁寧に対応しています。あれもこれもと明治学院

のお陰と感謝しています。間もなく82歳、いままで多くの人たちと出会い、導いてもらいました。いまはそれらを若い人たちに伝える恩返しの日々と心得ています。

「卒業50周年記念礼拝を迎えて」



井上 倫太郎 (1956年卒)

こいうわけで、わたしたちもまた、このようにおびただしい証人の群れに囲まれている以上、すべての重荷や絡みつく罪をかなぐり捨てて、自分に定められている競走を忍耐強く走り抜こうではありませんか、信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。

ヘブライ人への手紙 12章1-2節

今年2019年1月19日土曜日、明治学院の礼拝堂にて、白金高等学校卒業50周年記念礼拝が執り行われ、開かれ頂戴したみことばです。柏井創牧師より学院の歴史と共に一人一人の歩みを支え導き続けて下さっている主イエスキリストが語られました。

礼拝の最後に新しく2階に据えられたオルガンの響きにあわせ、同窓生とともに久しぶりに大声にて校歌を歌いました。島崎藤村の詩が礼拝で語られた御言葉と重なり響き合い、主に支えられているのだという大きな喜びと力を頂きました。

「還暦記念礼拝」



卒50周年&還暦祝集合写真



高岡 昭彦 (1977年卒)

秋晴れの一月十日(土)、42年ぶりにチャペルの記念礼拝に参加しました。毎年3月にクラス会をやっているので、3年D組は10人が集まりました。

説教、祈祷の後に荘厳なパイプオルガンの伴奏で頌栄539番「あめつちこそぞりて」を歌い、懐かしく思いました。礼拝が終わった後にパイプオルガンで校歌が弾かれると、誰彼となく参加

者が歌い出しましたがほとんどの方が暗譜でした。島崎藤村のこの校歌は脳裏にあり最後の一節「眼さめよ、起てよ畏るるなかれ」では懐かしさのあまり思わず感涙してしまいました。

その後、高校の食堂で懇親会があり、中央にグラウンドがあり昼休みによく野球した、大学が隣接しているので生協の食堂やバールシバに行った、タバコ吸って見つかれば誰が停学になった、戸狩のスキー教室に行ったなど、旧友たちと昔話に花が咲きました。

今回このような記念礼拝を企画していただき、同窓会に感謝いたします。今回は8年後の「卒業50年記念礼拝」に、また皆で参加出来るよう、健康で元気でいたいと思います。



還暦祝集合写真

「井深梶之助を知っていますか？」

松宮 克昌
(1962年卒)



明治学院高校の卒業生が学校の特色は何かと尋ねられたなら、いわゆる

受験一筋の学校でも、スポーツの名門校でもないが、キリスト教の理念に基づいたリベラルな精神が随所にあり、一般校とは一味違う校風の学校だ、と答えるのではないだろうか。しかし、井深梶之助を知っているかと問われたなら、名前は聞いたことはあるがどのような人かはよく知らないと答える卒業生は、少なくないだろう。

明治学院高校同窓会副会長の同級生、平木巖君は中学時代、成績優秀につき「井深賞」を受賞したことをきっかけに、井深梶之助のことを知ったという卒業生はむしろ例外かもしれない。紙面が限られているので履歴の詳細は割愛するが、井深家はかつての幕府の藩主であった会津藩の藩校「日新館」館長や武士の子弟を教育する学校奉行の家柄。梶之助は藩主、松平容保公の小姓をつとめたが、幕末の戊辰戦争に際し、年齢を詐称して越後の小出島戦に出陣する戦争体験をしたラスト・サムライの一人だった。

敗者の悲哀を味わった戦後、つてを頼って横浜のブラウン塾にて英語を学び、ここでブラウン師の高潔な人格とキリスト教に触れることによって、これまでの価値観を大転換する生き方に目覚め、受洗し、東京一致神学校を経

て明治学院に学んだ一期生だった。後に牧師に叙階され、学院の教授、さらに学院副総理に抜擢され、米国留学を果たし、ヘボン総理の後を継ぐ第二代総理に就任した。井深は、明治中期から大正後期までの「富国強兵」時代には総理を、軍国主義華やかな昭和初期までは学院の相談役を担った。

当時の国家行政からのキリスト教理念の学校にはさまざまな干渉、圧力が加えられたが、まさに会津藩士然の井深は毅然とミッション校の理念を堅持し、日本の教会の発展にも力を尽した。今日の学院があるのも、こうした井深先生のような先達たちのおかげである。

では、いまなぜ、井深梶之助のことをここに私が書くのか？理由の一つは、家内の祖先が会津藩士であり、その縁で会津に地縁があった。二つ目は、戊辰戦争が終結し150年目の節目が2018年であることにある。

会津を含む奥羽越後地区では、様々な慰霊行事や講演会、さらに全国各地では明治維新150年にまつわる行事が開催された。私も会津や新潟での行事に参加した。昨夏、会津の知人からの誘いもあり、かつての井深少年と会津藩校「日新館」の同学だった山川健次郎（会津藩家老の出自で、日本人初の理学博士、東大をはじめとする旧帝大の総長を歴任した）の再建された「日新館」で慰霊行事が催され、参列した。この慰霊の旅で、「日新館」の裏手に井深梶之助の立派な銅像があったことを遅まきながら知った次第。山川健次郎の慰霊行事が顕彰会会員によって定期的に行われていると聞いているが、

会津を含む福島県をはじめとする学院や教会の関係者による井深先生の顕彰会が組織され、慰霊を行っている話は私の知る限り、聞いたことがない。彼の功績を顕彰する会があってもおかしくはないはずであるだけに、たいへん残念である。

人は二度死ぬという言葉がある。一つは肉体の死によって、もう一つは人々から忘れ去られることによって。それゆえ、顕彰会設立を模索したく学院側に井深家、および関係者の連絡先を開示して欲しいと依頼したが、個人情報開示はできないとの理由で、これを具体化させる人脈の手がかりが得られず今日に至っている。

国も、家族にも、学校にもそれぞれの歴史がある。歴史は語り継ぐ者がいてこそ、はじめて過去の歴史に息吹を注入し、学ぶことができる。彼の業績を顕彰し、慰霊を行うことによってより広く新しい世代の人を含めて、知る機会を提供する意味があるはずである。学院がキリスト教理念を礎とし、それを継承することが重要であると捉えるなら、ヘボン博士と同じく建学者の一人でもある学院の先達、井深梶之助にもっと光を当てる意味があるのではないかと、この思いからペンを取った次第である。



井深梶之助

私の健康法

その5
思いつくまに

明治学院中学校・
高等学校同窓会
(白金会)
副会長 平木 巖
(1962年卒)

今回も「思いつくまに」を、Ⅲとして述べさせていただきます。
感動しましょう

健康を維持するために、食事と運動はもちろんですが、もう一つ大切なものが、それは感動です。百年人生を輝きに満ちたもの、アルツハイマー病や認知症のたぐいの、脳の老化をいかに防ぐか、感動こそが鍵です。芸術家に長生きをする人が多いのは、感動する力が強いからです。絵を見る、音楽を聴く、花を植える。方法は何でも構いませんが、感動あふれる毎日を送ることによって、百年人生は輝きに満ちたものになります。

楽しく脳を活性化させて、認知症を防ぐ「健康とは病気でなく、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」と定義しています。(世界保健機関)健康とは中国の古い易経にある「健体康心」という四文字熟語が縮まって出来た言葉だそうです。つまり身体が健康で、心が安らかな状態を意味しています。心も身体も健康であることは幸せな人生を送る大前提ですが、私たちは皆一人では生きていけず、周囲と支え合って生活しています。脳神経細

胞には生まれながら相手の気持ちに共感する機能が備わっており、人との繋がりがいかに大切なことか、です。加齢とともに脳の神経細胞は減少していくものの、常に脳に刺激を与え、そして適度な運動を心掛けることで、脳は活性化させることができます。その時に「意欲的に行うこと」がポイントです。仕事でも趣味でも同様ですが、

「関心を持つて」、「楽しいと思いがら行」だけで何倍もの効果が期待できます。実は、「意識して意欲的に取り組むだけ」で、既に脳にいい刺激を与えているのです。

認知症予防をはじめ、一人でも多くの人が健康で幸せな生活を送ることを、願ってやみません。

ずっと幸せに生きる7つの心得
(「死ぬとき幸福な人」に共通する7つのこと)

- ①人は何歳からでもやり直せる。だから自分で自分を否定しない。
 - ②老いて体が動かなくなっても、新しい一歩を踏み出す。
 - ③不平不満があっても家族は家族。心から愛情を示す。
 - ④老後の喜びは他人がくれるもの。一期一会に出会いに感謝して暮らす。
 - ⑤いつかこの世を去ると心得て、今、この瞬間を楽しむ。
 - ⑥死を前にして後悔しないために、大切な「夢」や「希望」は他人にゆだねる。
 - ⑦どんな絶望、苦しみを抱えていても、今日一日を大切に過ごす。
- 夫婦間の愛の3原則
①「ありがとう」をためらわずに言いましょ。

②「ごめんなさい」を恐れずに言いましょ。
③「愛してる」を照れずに言いましょ。
黄金の人生をつくる4のコツ

①家庭こそオアシス。
②ユーモアは平和と長寿の源泉。
③旺盛な好奇心、豊かな感性、そして生きがい。

④怒るなかれ。

笑顔が一番(笑う練習をしてください)

①「しゅうび」を開く。

②目じりを下げる。

③「こうかく」を上げる。

下あごを出して フーと吹いて 笑う練習をして下さい。顔を動かして下さい。

「笑う」と脳が活性化されます。心に笑顔を 顔に笑顔を 体に笑顔を。



<<白金校舎フォトギャラリー>>

体育館 (1980 年完成)



伝統のチャペル (1916 年完成)



学食 (1991 年完成)



グラウンド (2003 年完成)





<< 新校舎完成予想図 >>

同窓生の皆さまには日頃から同窓会活動にご理解ご支援を頂き誠に有り難うございます。皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

年会費・賛助金のお願い

白金会一層の飛躍を成し遂げようとするこの時、是非、皆様の温かいご支援をまた今年もお願いする次第です。

会員ご本人または同窓生の住所等変更など分かりましたら下記までご連絡下さい。

明治学院中学校・高等学校同窓会（白金会）連絡先 メールアドレス：info@mg-shirokane.com FAX.03-3634-0895

年会費 3,000 円
賛助金一口 1,000 円から

お一人様何口でも結構です。

特に締切期限は設けておりません。
同封の振込用紙にて、お振込をお願いいたします。

口座番号 00140-2-549610（郵便振込）
口座名 明治学院中学校・高等学校同窓会